

〈報告書〉

王子ホールディングス株式会社

外国人労働者へのインタビュー実施結果

～人権インパクトアセスメントの一環として～
2023年3月14日（火）

経済人コーポラ卓会議日本委員会

CAUX  ROUND TABLE

目次

1. 実施概要	3
2. インタビュー実施結果	6
3. 外国人労働者の労働実態詳細	11

1. 実施概要

実施概要

日本国内における外国人労働者の潜在的な人権リスクを考慮し、王子ホールディングス(株)では昨年国内連結会社を対象にアンケートを実施し、雇用状況および法令順守状況を調査した。経済産業省の「人権尊重のためのガイドライン」において、脆弱な立場に置かれることが多い、とされる外国人技能実習生に着目し、グループ内の技能実習生の労働実態を確認する目的で、雇用する技能実習生人数が多い王子パッケージング(株)で働く技能実習生計8名に対して、インタビューを実施した。また、インタビュー後、管理者計3名にフィードバックを行った。

インタビューは客観性および中立性確保のため、CRT日本委員会が第三者の立場で実施した。また、女性労働者へのセンシティブな内容を含む質問項目は男性インタビュアーは席を外し、女性インタビュアーから質問した。

実施概要は右の通り。

インタビュー対象	事業領域	グループ会社
王子HD	生活産業資材	王子パッケージング(株)
	機能材	本社・東京事業所
	資源環境ビジネス	富士事業所
	印刷情報メディア	愛知事業所
	コーポレートマネジメントグループ シェアードサービス会社	関西営業所 高崎パッケージ(株)

インタビュー対象	王子パッケージング株式会社
日時	2023年2月16日(木) 14:10-14:55 技能実習生インタビュー① 15:05-15:54 技能実習生インタビュー② 15:50-16:20 管理者へのフィードバック
実施形式	対面グループインタビュー40~45分
実施場所	王子パッケージング(株)東京事業所 プレゼンテーションルーム
インタビューイー (性別、国籍)	現場業務に携わっている技能実習8名(女性、タイ)
使用言語	日本語、タイ語 ※監理団体による通訳あり
インタビュアー	CRT日本委員会 石田(男性)、大出(女性)

インタビュー質問項目

基本情報の確認		名前、性別、出身地・国籍、使用言語
		日本語理解度（話す、書くレベル）
		家族、居住地、帰郷の頻度
		勤務形態
導入部		どのように、なぜ、いつ、日本にきましたか。
		どこで日本語を勉強しましたか。
		どのようにここでの仕事を見つけましたか。いつから、ここで働いていますか。
		現在、どのような仕事で就労していますか。
		あなたの仕事の内容について教えてください。
質問項目	適正な労働時間・強制労働	勤務体系と勤務時間を教えてください。
		残業はありますか。残業を強制されることはありませんか。
		休日はゆっくと身体を休められていますか。
	適正賃金	お給料は契約通りの日時に、金額が支払われていますか。
		残業をした場合には、残業代は支払われていますか。
	雇用契約書	雇用契約書は、あなたが理解できる言語で書かれていましたか。
	職場における健康と安全	仕事での達成感をどこに覚えますか。仕事は楽しいですか。やりがいを感じる時はどんなときですか。
		仕事で危ない、あるいは危険と思ったことはありますか。
		仕事をしていてつらいと感じるときはどんなときですか。仕事への不満はありますか。
	結社の自由と団体交渉権	会社に対し、報復の恐れなく、不安や懸念を提起できる窓口がありますか。
		会社は、職場環境の改善のために取り組んでいると感じますか。
	コミュニケーション	会社や上司とのコミュニケーションは十分だと感じますか。
		日本人スタッフやチームとの関係は良好ですか。
		すごく疲れたとか、問題があったとか、嫌な事があった時に、誰か相談できる人は職場にいますか。トラブル等、問題があった時には、誰に対応方法を相談しますか。
		職場でつらい状況にある人を目にしたことはありますか（それは特定のグループの人ですか）。誰かからつらいと相談を受けたことはありますか。相談を受けたらどうしますか。
	その他	会社への意見はありますか（改善点等）
あなたの職場において、コロナ感染拡大を防止するような取組みがとられていますか。		
あなたの住環境について教えてください。		
誰かにこの仕事を紹介したいと思いますか。		

2. インタビュー実施結果

総評

適正な労働時間/適正な賃金

長時間労働および強制的な残業は確認されなかった。勤務時間は固定されており、規則的な勤務体系が維持されている。残業は断ることが可能。残業時間はほぼ1時間45分間で固定されている。土曜日および日曜日が休日である。

給料は残業代と合わせて毎月25日に支払われ、支払いの遅延はない。給与明細（日本語）が配られ、内訳を確認している。インタビューに参加した技能実習生全員が貯金および/または母国への仕送りをしている。また、休日や連休は各自好きなように過ごす余裕があることから、適正な賃金および生活賃金がインタビュー時点においては保証されていると言える。一方で、日本国内の物価上昇は複数名から指摘され、生活賃金が保証された給与水準になっているか適宜確認が必要である。

安全な採用・雇用契約

技能実習生が技能実習開始前にイメージしていた業務内容と実際の業務内容に相違はない。雇用契約書は送り出し機関が実習生と読み合わせを行い、実習生は内容を理解した上で、サインしている。

職場における健康と安全

危険な状況下での作業は確認されなかった。また、空調設備が整備された室内での作業であり、年間を通じて室温が調整され快適である。また、月経時、体調に合わせて、早退や休暇を取ることができる。相談しやすい環境であるとのコメントがあり、女性にとって働きやすい環境であると言える。

総評

結社の自由と団体交渉権/コミュニケーション

現場では従業員間で作業に必要なコミュニケーションが円滑に取られ、懸念事項等があればリーダーや実習生の先輩に相談することができる。インタビューに参加した技能実習生は、日本語でのコミュニケーションに問題のない労働者もいれば、通訳を介した方がより正確に質問が理解できる労働者もあり、日本語能力は労働者により多少差がみられるが、実習生間のコミュニケーションや、日本人リーダーの手厚いサポートにより、日本語能力問わず業務遂行できている。また、会社は実習生が快適な生活を過ごせるよう、地域周辺の案内や病院への付き添い等、現場業務を超えたサポートを提供している。

相談や伝えたいことがある場合、会社に話すことができる、リーダーは職場でも近くで業務にあたっているため、いつでも気軽に相談が可能である。社内業務の中でコミュニケーションが取られ、気軽に相談できる風土がある点はアピールできる取り組みの一つであり、労働者からの声に連携して、現場内で対応および解決できていることは健全である。現場においてどのような相談があるのか傾向を把握し、また、どのように解決しているか、どのような改善策を講じたのか等、一連の動きを整理しておくが良い。王子ホールディングスにこれをレポートできると望ましい。引き続き、いつでも相談にのるといった姿勢を見せ、問題や懸念を早く気軽に相談しやすい環境を作ることが期待される。外国人労働者を大事に思っている、気にかけていることを伝えることは信頼基盤の構築に重要である。

その他

技能実習生と日本人スタッフとの関係性は良好であり、重要な戦力として実習生を位置づけ、良好な労働環境および生活環境を整備する姿勢がみられる。また、実習生はリーダーや日本人従業員を「母」や「姉」のように慕い、信頼している。技能実習生は日本で働きたい知り合いがいたら王子パッケージング(株)を紹介したいとコメントした。その理由に、職場環境が良い点、寮に近い点、タイと比較し給料および待遇が良い点、日本人が優しい点が挙げられた。今回インタビュー対象の実習生ではないが、実際に実習生のいところ王子パッケージング(株)に応募してきたこともある。満足度の高い労働環境であることが示唆される。

課題と対策

- 技能実習生は給与明細から内訳を確認するが、日本語で書かれているため、翻訳ツールを用いて内容を確認している。給与明細自体をタイ語で配布する必要はないが、給与明細の見方のサンプルをタイ語で作成すると、実習生はより正確な情報を得られるだろう。
- インタビューした技能実習生全員が月の収入の多くを貯金および/または仕送りをしている。現時点では、貯金や仕送りをしながら、各自好きなように休日を過ごす余裕がある。しかし、インタビューを通じて、物価上昇への懸念が確認された。食費代を削る等、生活への影響が出ていないか、引き続き日頃のコミュニケーションを取りながら、状況を確認できると良い。
- 技能実習生含め外国籍労働者との意見交換を行う際には、相手の真意を理解するためにもこれまで以上に、相手の立場を尊重する姿勢として、話を「聞く」ではなく、「聴く」形で、真摯に向き合う時間を共有することで、更なる信頼関係を醸成することができるだろう。この取り組みを通じて、外国籍労働者たちのストレスを緩和して、働きやすい職場や生活環境が整い、メンタル面でのケアが実現できること期待したい。
- 技能実習生の貴重品管理について、個人が自身の貴重品を安全に保管できる金庫の支給が会社に求められている。支給したのち、外国籍労働者が実際に使うか否かに関わらず、支給していることが重要である。
- 貴社としては、グループ会社におけるベストプラクティスとして、本インタビューで見えてきた王子パッケージング(株)での取り組みおよび技能実習生の労働環境実態を情報開示することで、貴社グループ一丸となってすべての従業員の人権尊重に取り組んでいる姿勢を示せるだろう。

インタビューの様子



3.外国人労働者の労働実態詳細

労働者インタビュー

適正な労働時間/強制労働

- 勤務時間は8:30～17:15。適宜休憩時間が取られ、午後には一回10分休憩が設けられてる。休憩時間にはお手洗いを利用したり、お菓子を食べて過ごしている。
- 昼休憩は50分間。昼食は、寮でお弁当を作って持ってきている。
- 残業は、毎日1時間45分間あるが、希望制のため、体調が悪い時等、理由に関わらず断ることができる。その場合、終業時間の17:15に帰宅する。しかし、お金を稼ぐため、残業には積極的である。
- 有給は事前申請が必要だが、取りたいときに取得が可能である。体調不良等で欠勤したい場合、当日の朝、LINEでリーダーに連絡をする。
- 土曜日および日曜日は休日である。休日は、タイ料理を作る、買い物に行く、ゆっくり休む、出かける（新宿、原宿、渋谷、浅草、スカイツリー、ディズニーランド、横浜等）等して過ごしている。他に行ってみたいところはたくさんあり、富士山、京都、大阪、お台場が挙げられる。

適正賃金/強制労働

- 給料は残業代と合わせて、毎月決められた日（毎月25日）に支払われている。支払いの遅延は発生していない。
- 会社は給与明細を発行している。日本語で記載されているため、google翻訳アプリを活用し、タイ語に翻訳し内容を理解している。支給額から、天引きされる社会保険料や光熱費を確認し、手取り金額を把握している。
- 自分用の貯金を多少しているが、給料の多くはタイの家族に送金（仕送り）している。
- 物価が上がってきている。また、タイバーツ/円の為替レートが以前と比較して、有利でなくなってきている。タイで生命保険に入っている実習生もいる。

雇用契約

- 雇用契約書はタイ語と日本語が併記されていた。また、送り出し機関と一緒に雇用契約書を読み合わせてくれ、理解した上でサイン、来日した。事前に説明された業務内容と実際の業務内容に相違はない。

労働者インタビュー（続き）

職場における健康と安全

- 業務内容は日により異なるが、基本的には箱詰めライン作業、立ち仕事である。疲れることもある。作業内容により、箱が重いこともあるが、常に周囲の人に助けられている。
- 職場において、つらいことはない。体調が優れない際には、早退やお休みをしており、会社からは快く了承してもらっている。
- 月経時も業務は身体的な負担にはならない。通常、痛みは耐えられるほどである。痛みがひどい際には、昼で帰る、残業をしないで帰るといった選択肢がある。昼に帰る場合は、昼休憩時に帰りたい旨伝え、早退許可を得る。休みやすく、早退もしやすい環境である。また、このようなことを言いやすい環境である。帰りたいと伝え、と、「いいよいいよ」と快く了承してくれる。
- 室温は丁度よく、快適な職場環境である。
- 職場は女性が多く、7割が女性従業員である。性別や国籍にかかわらず、差別や嫌がらせを経験したことはない。

結社の自由と団体交渉権

- 会社に意見を言うことができる。
- 業務内容に関するファイルに当日振り当てられる業務の基本的な作業工程の説明が入っているが、初めて行う作業については、疑問点があれば適宜質問および相談し、作業方法について意見を伝えることがある。

コミュニケーション

- 来日後2~3か月程で仕事を覚え、職場の人と話ができるようになった。来日時は慣れるまで大変だった。特に1期生は会社にとって初めての試みだったため、より大変だった。しかし、リーダー（日本人女性）が食事場所まで付き添ってくれる等、非常に優しく、サポートを受けた。2期生は、先輩（1期生）がいるため、仕事の要領をより理解しやすかった。
- 仕事で不明点がある際には、リーダーに気軽に尋ねることができる。困ったことがあれば、いつでも相談できる。リーダーは姉や母のような存在で頼りになる。作業中も常に近くで働いており、声をかけやすい。
- 仕事に関する相談はリーダーにし、生活に関する相談はまず実習生メンバーにする。また、どこで何を買ったらいいか等日本の生活に関する不明点の相談に乗ってくれる日本人女性社員が現場にいる。
- 日本人従業員は皆すごく優しく、娘のように気にかけてくれている、親戚のおばさんのような存在。ミスをして、「大丈夫だよ」を声かけてくれる。
- 力を使う仕事よりも、来日時は日報を書くことが大変だった。書く量は多くなく、数字を入れることが主だが、品名は日本語で書かれ、日報自体は漢字交じりの日本語のため慣れるまでは難しかった。現在は既に慣れた。

労働者インタビュー（続き）

その他

[生活環境]

- 13階建ての社宅の部屋を寮として使っている。社宅は会社敷地内にあり、会社まで徒歩5分と近い。周辺は交通の便が良い。インタビューした1期生3名は2LDKと一緒に住んでいる。寝室が二つあるため、一つは2人で共有し、もう一つは一人部屋として使用している。喧嘩することはない。2期生は3LDKに5人で住んでいる。寝室が3部屋あり、2人、2人、1人で分けている。
- 家賃は月1,000円（水道光熱費別）。各部屋の水道光熱費は会社が合算し、均等に入居人数で割り、請求される。水道光熱費は5人部屋の場合、高い月は5万円（1万円/人）になることもあるが、安い月は1万円（2,000円/人）。水道代は2か月に一度の支払いのため、その月には必然的に水道光熱費が高くなる。
- 貴重品は各自カバンに保管・管理している。金庫はない。物の紛失は発生していない。
- キッチンと同室メンバーを共有している。徒歩でスーパーまで買い物にいき、食事は自炊（タイ料理）している。料理は各自している。1期生実習生の作るごはんがおいしいため、2期生は1期生の部屋に行きごはんを食べることもある。
- 来日時、面接で会った人事の男性社員は、スーパーに付き添ってくれ、親切だった。来日時には寮の部屋にトイレトーパーやティッシュ等細かいものまで一式揃っていて親切だと思った。生活で困っていることはない。病院にも人事の女性が連れて行ってくれた。
- 寮は布団で寝ている。タイはベッドで寝る文化のため、贅沢ではあるが、もし可能であればベッドで寝たい。しかし、ベッドを置いたら部屋のスペースがなくなってしまうだろう。
- 先月1月は正月休暇があり出勤数が少なかったことと、コロナに感染し欠勤していたため給料が少なかった。コロナには、実習仲間と渋谷や原宿に遊びに行ったときに感染した。病院に行った。熱はなく、のどの痛みだけで、軽症だった。寮の同室2名が感染した。

[今後の予定]

- 日本は生活しやすいため、今後も日本に残りたい。
- 王子パッケージングに残り引き続き勤務したい。理由には、職場環境が良い点、寮が近い点、タイと比較し給料が良く待遇が良い点、日本人が優しい点ことが理由に挙げられる。長く働けるよう祈っている。
- 良い環境のため、もし機会があれば、王子パッケージングの仕事を知り合いに紹介したいと思う。
- 違う国に行きチャレンジしたいとコメントした実習生もいる。

管理者からのコメント

- 技能実習は2019年、コロナ前に開始した。ベトナム人実習生の受け入れから始め、1年後にタイ人実習生を受け入れ始めた。ベトナム人以外の実習生も受け入れることを監理団体から薦められた。実習生の国籍は性別で分けており、男性実習生はベトナム人、女性実習生はタイ人。
- 雇用契約書については、タイ現地の送り出し機関が説明している。
- 現場リーダーは男性1名、女性1名いる。実習生のサポートをしている。
- 職場に加え、実習生の生活サポートも行っている。例えば、病院の初診は問診票等の記入や症状の説明等、コミュニケーションで難しいこともあるため、付き添っている。
- パスポート等貴重品は実習生が各自管理している。金庫の支給はしていない。
- 男性実習生は寮に住んでおり、すべて一人部屋である。
- コロナ以前は現地に行き採用面接をしていたが、コロナ以降はオンラインで実施している。
- 実習生のいところが技能実習生で入ってきたことがある。

CAUX ROUND TABLE

